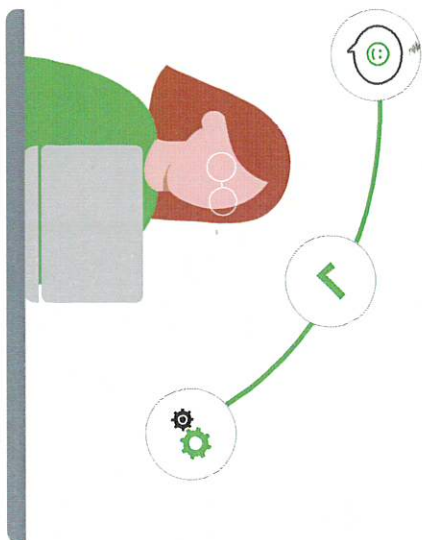


小児用フォオナックターゲットトラック

ビッグデータを活用して、小児難聴のより良い管理を

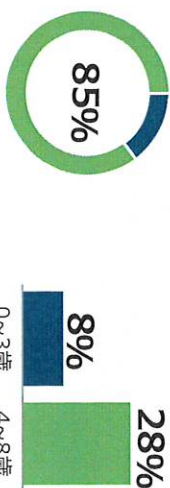
フォオナックのモバイル、パラダイス、ルミニア補聴器を使用している18歳未満のユーザーを対象に、計19,201件のアンケートデータを分析した大規模調査が米国で行われましたので概要をご紹介します。更に詳しい内容は今後フォオナックのホームページにて掲載予定です。



より良い結果に繋げるための
3つの重要な予測因子¹

ターゲットトラックのインサイト

01 | 補聴器の良好なフィットイング

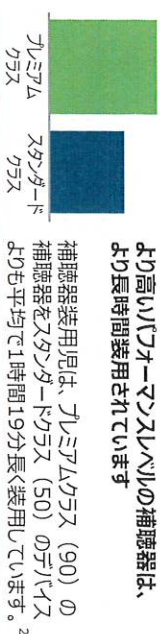


小児用補聴器の85%は、DSL v5またはNAL-NL2などの小児用のフィットイング処方を適用してフィットイングされています。

適齢はほとんどの小児に適切なジューニアモードの設定が使用されています。²しかし、0~3歳の8%と4~8歳の28%は標準モードが使用されています。²

02 | 継続的な補聴器の使用

+ 1 時間19 分



より高いパフォーマンスの補聴器は、より長時間装着されています。

補聴器装着児は、小児用フォオナッククラス (90) の補聴器をスタンダードクラス (50) のデバイスよりも平均で1時間19分長く装着しています。²

03 | 質の高いことばのインタクト



フォオナックの小児用補聴器の94%は、オートセンス スカイ OS またはオートセンス OS をスタートアッププログラムとして使用しています。

使用上の考慮事項

ジューニアモードの使用

最適な臨床ワークフローのためには、適切なジューニアモードに設定することが重要です。ジューニアモードでは、年齢に合わせてDSL v5 および NAL-NL を初期設定します。これは、最良の実践ガイドラインの遵守をサポートするため、幼少期のことばに対しては特に重要です。³



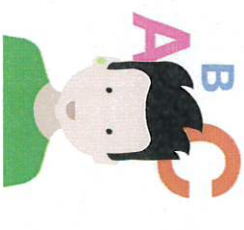
装着時間を増やす

推奨される補聴器の装着時間は、1日あたり少なくとも10時間以上です。⁴充電式補聴器フォオナック スカイやオートルミニアを使用するフォオナック ジューニアアプリは、お子さまの補聴器の使用状況を保護者が確認できるだけでなく、小児補聴器担当者が補聴器を習慣的に使うようお子さまをサポートします。^{5,7}



自動プログラムから始まる

早い段階から言語に触れることは、認知発達の上と相関しています。⁵小児用のフォオナックに推奨されるオートセンス スカイ OS または オートセンス OS をスタートアッププログラムとして使用すると、どのような環境下でも最良の音質が得られます。^{6,7}



1 McCreery, R. W., Walker, E. A., et al., (2015). Longitudinal predictors of aided speech audibility in infants and children. *Ear and Hearing*, 36(Suppl 1), 24-37
2 Nelson, J., Pelosi, A., Bulut, K., & Jagoda, L. (2024). Using large-scale data analytics to understand pediatric hearing aid prescription and use. *Hearing Review*, 2024(10), 16 - 18.
3 Scoble et al. (2020) Pediatric focus 3. Hearing aid prescription and fine-tuning: The basics of preferred practices. 出典: www.phonak.com/evidence
4 Tomblin, J.B., Harrison, M., Ambrose, S.E., Walker, E.A., Oleson, J.J. & Moeller, M.P. (2015). Language Outcomes in Young Children with Mild to Severe Hearing Loss. *Ear Hear*, 2015 Nov-Dec;36 Suppl 1(0 1):765S-915S. doi: 10.1097/AUD.0000000000000219. PMID: 26731161; PMCID: PMC4704115.
5 Gabriel, J.D.E. (2018). Beyond the 30-million-word gap: Children's conversational exposure is associated with language-related brain function. *Psychological Science*, 29(5), 700-710.
6 Wolfe, J., Duke, M., Schater, E., Jones, C. & Rakta, L. (2017). Evaluation of Adaptive Noise Management Technologies for School-Age Children with Hearing Loss. *American Academy of Audiology* 2017; 28(05): 415-435 DOI: 10.3766/aaa.16015
7 Felner, M., Jones, C., & Rich, S. (2016). Automatic and directional for kids. Phonak Insight. 出典: www.phonak.com/evidence. 028-2723-17/ V1.0072024-10/NLG © 2024 Sonova AG All rights reserved